

科研費「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」プロジェクト研究会・第2回北海道防災・減災セミナーを開催しました

防災・減災に関する文理連携教育研究プロジェクトである、北海道大学突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点では、7月20日に科研費「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」プロジェクト研究会・第2回北海道防災・減災セミナーを開催しました。北海道における気候変動適応、災害リスク及び地域社会の実態の両面の調査からの孤立対策に関する研究事例等について発表を行い、知見を共有しました。

日時：平成30年7月20日（金）13:30～15:00 参加者：約20名
会場：北海道大学農学部 S11教室



第1回北海道防災・減災セミナー
「北海道における防災・減災の課題」のまとめ
農学研究院 小山内 信智 特任教授



北海道における気候変動適応社会実装の
実例～北海道大学・北海道開発局・北海道庁
の取り組み～ 理学研究院 稲津 将 教授



道総研戦略研究「土砂災害による集落孤立
リスクおよび自立対応力の評価手法の開発」
の計画 土砂災害による集落孤立リスク評価
道総研地質研究所 石丸 聡 研究主幹



道総研戦略研究「土砂災害による集落孤立
リスクおよび自立対応力の評価手法の開発」
の計画 集落の自立対応力の評価
道総研北方建築総合研究所 川村 壮 研究職員

本セミナーは、日本学術振興会による科学研究費助成事業（課題番号18H03819「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」）の助成を受けて実施しました。